

| 令和4(2022)年度 | | | | 年間授業計画 | |
|-----------------|----------|--|---|---|--|
| 教科・科目 | | 情報 プログラミング入門 | | 2 単位 | |
| 対象学年・組 | | 3年生 | | 必修選択 | |
| 教科書 (出版社) | | いちばんやさしいJavaScriptの教本 人気講師が教える Webプログラミング入門 第2版 | | | |
| 学習目標 | | <p>(1) プログラミング言語「JavaScript」の課題作成能力を身に付けさせる。</p> <p>(2) プログラミング言語を独学で学習する能力を向上させる。</p> <p>(3) プログラミングセンス(アルゴリズムリテラシー)を向上させる。</p> | | | |
| 学期 | 予定 時数 | 単元 | 指導内容 | 具体的な指導目標 | |
| 1 | 前半 | 1. プログラミングの概要 | <ul style="list-style-type: none"> ◆アルゴリズムについて ◆HTML、CSS、Javascriptの役割について | <ul style="list-style-type: none"> ◆初めて習う事柄が多いので、リハを付け、必要な事柄をしっかり把握させ、復習を繰り返させマスターさせる。 ◆根気の必要な作業が多いため、集中して取り組めるよう、授業にリハを持たせる。 | |
| | 後半 | 2. JavaScriptプログラミング | <ul style="list-style-type: none"> ◆テキストを利用して学習 Chapter 1 プログラムを作成する準備をする Chapter 2 プログラムを作りながら基礎を学ぶ Chapter 3 条件分岐について学ぶ Chapter 4 関数の基本を学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ◆JavaScriptの文法を理解させ、コーディングの方法について習熟させる。 ◆処理の効率化を自分で考え、周囲と相談しながら、より高度なものへ高める取り組みを身に付けさせる。 | |
| 2 | 前半 | 2. JavaScriptプログラミング | <ul style="list-style-type: none"> Chapter 5 繰り返し処理について学ぶ Chapter 6 HTML/CSSを操作する方法を学ぶ Chapter 7 ユーザーの操作に対応させる Chapter 8 データをまとめて扱う | <ul style="list-style-type: none"> ◆JavaScriptの文法を理解させ、コーディングの方法について習熟させる。 ◆根気の必要な作業が多いため、集中して取り組めるよう、授業にリハを持たせる。繰り返しの復習で、技能を向上させる。 | |
| | 後半 | 2. JavaScriptプログラミング 3. enchant.jsを利用したゲームプログラミング | <ul style="list-style-type: none"> Chapter 9 フォトギャラリーを作成する Chapter 10 便利なjQueryを使用してみる Chapter 11 Web APIの基本を学ぶ ◆enchant.jsを利用したJavascriptによるゲームプログラミング | <ul style="list-style-type: none"> ◆処理の効率化を自分で考え、周囲と相談しながら、より高度なものへ高める取り組みを身に付けさせる。 ◆ゲームプログラミングへの意欲を持たせ、積極的に取り組ませるようにする。 | |
| 3 | 18 | 3. enchant.jsを利用 | <ul style="list-style-type: none"> ◆enchant.jsを利用したJavascriptによるゲームプログラミング(応用) | <ul style="list-style-type: none"> ◆作品制作の技能を自分から積極的に学び取る姿勢を身に付けさせる。 | |
| 評価の観点 (評価基準) | | ○アルゴリズムの種類について理解し、活用できるようになったか、また、JavaScriptの文法について理解できたか、実際のソフトウェア開発を通して表現できるようになったかを評価の観点とする。 | | | |
| 評価の方法 | | ○授業内の「提出課題」と「学習状態」を基に評価する。 ○学習状態には、出席状況・授業態度・授業に対する取り組み等が含まれる。 | | | |
| 学習の手引き | | ○JavaScriptを活用したソフトウェアを開発する。 | | | |
| 授業担当者 | | 石田 洋 | | | |